

## 特殊詐欺防止の 年賀はがきを贈呈



▲特殊詐欺防止の年賀はがき12500枚を贈呈しました

市や市内の郵便局、三原市防犯連合会は昨年12月26日、特殊詐欺への注意を呼び掛ける年賀はがき12500枚を三原警察署に贈呈しました。

年賀はがきは、市内企業95社の協賛で作成。特殊詐欺の事例をイラスト付きで紹介し、警察署の相談窓口の電話番号を掲載しました。

贈呈式で三原警察署の鈴木章博署長は「年賀はがきを見て、特殊詐欺について家族で話し合ってほしい」と述べました。

贈呈した年賀はがきは年始に、三原警察署管内の世帯に配達されました。

県内では、息子や甥などを名乗り「会社の通帳が置き引き被害に遭った。お金が準備できない」などと話し、金銭を要求する電話が多く発生しています。電話やメールでお金の話が出たら、詐欺を疑って、家族や警察に相談してください。

### ○相談窓口

三原警察署

☎0848・67・0110

▲配達された年賀はがき



### ☎生活環境課

☎0848・67・6178

## 大学生が観光企画を 提案

市は昨年12月26日、兵庫県の甲南大学の学生から、観光客誘致に向けた企画の提案を受けました。

この取り組みは、同大学が広島県と連携して行う地域課題の解決事業を活

用したもので、学生17人が参加しました。

学生たちは昨年8月に市を訪れ、市内の観光スポットなどを調査。その結果を基に、学内で企画を練りました。学生からは、ソーシャル・ネットワークキング・サービス(SNS)を使った写真コンテストや市の観光資源を生かした観光客参加型イベントの開催、祭りの企画・運営に市内外の若者の参加を促すことなどの提案がありました。

市は今回の提案を、次期観光戦略プランを策定する際の参考にします。



▲企画を提案する学生たち

### ☎観光課

☎0848・67・6015

## 50年後に残そう未来の私へ メッセージカプセルの除幕式

皆さんから募集したメッセージカードや市内の小・中学生の寄せ書き、瀬戸内三原 築城450年事業の資料などを、三原城築城500年に引き継ぐため、メッセージカプセルを設置します。

カプセルは50年後に開封し、メッセージカードでモザイクアートを作成します。

とき 10日(土)13時~13時30分

ところ みはら歴史館(ペアシティ三原西館1階)

☎築城450年事業推進担当室 ☎0848・61・0450



▲モザイクアート